

◆ 主な研究課題・事業 ◆

課題1 元気創出！さくらんぼの 新たな省力・安定生産技術開発

労力不足や気象変動に対応し、安定したおとう生産を持続させるため、新樹形（Y字、V字、平棚）における省力的な着果管理技術および簡便な防霜対策技術を開発します。

また、経営の大規模化を見据えた、新樹形の機械管理の体系化を目指します。



作業台車利用による摘心作業
（Y字仕立て）

課題2 さくらんぼ新品種「山形C12号」（やまがた紅王）の 高品質安定生産技術の確立

さくらんぼ新品種「山形C12号」（やまがた紅王）の高品質安定生産に向け、着果管理技術、着色管理技術、肥培管理技術の確立を目指します。さらに、新樹形への適応性の調査を行っています。



「山形C12号」（やまがた紅王）
の新樹形

課題3 さくらんぼ新品種「山形C12号」（やまがた紅王）の 貯蔵技術の開発

さくらんぼ新品種「山形C12号」（やまがた紅王）のブランド力を強化するため、花笠祭りに販売可能な長期貯蔵技術および「紅秀峰」出荷終了後に販売可能な短期貯蔵技術を開発します。

課題4 生産性・安全性を向上させた新たな りんごわい化栽培技術の開発

わい性台木を利用した新しいりんご樹形を開発するとともに、除草や灌水等の管理の自動化・機械化を組み合わせることで、労働生産性・安全性の高い新たなりんごわい化栽培技術を確立します。



りんごの新型わい化栽培の検討

課題5 効率的な生産を可能にする西洋なし 新樹形の栽培技術の開発

新樹形（Y字、V字）の成園期に、安定的・省力的に収量を確保するため、結果枝の管理技術等を開発します。また、効率的な栽培法である「ジョイント栽培」の西洋なしへの適用を検討します。



西洋なしのV字仕立て

課題6 凍害に強いもも多主枝形仕立てに よる省力・安定生産技術の開発

凍害に強いももの多主枝仕立て（弱せん定）を導入する際に、樹の大きさと多大な着果管理労力が課題となるため、わい性台木を利用したコンパクトな多主枝形仕立て、および多主枝形仕立てにおける新たな着果管理技術を開発します。



ももの多主枝形仕立て